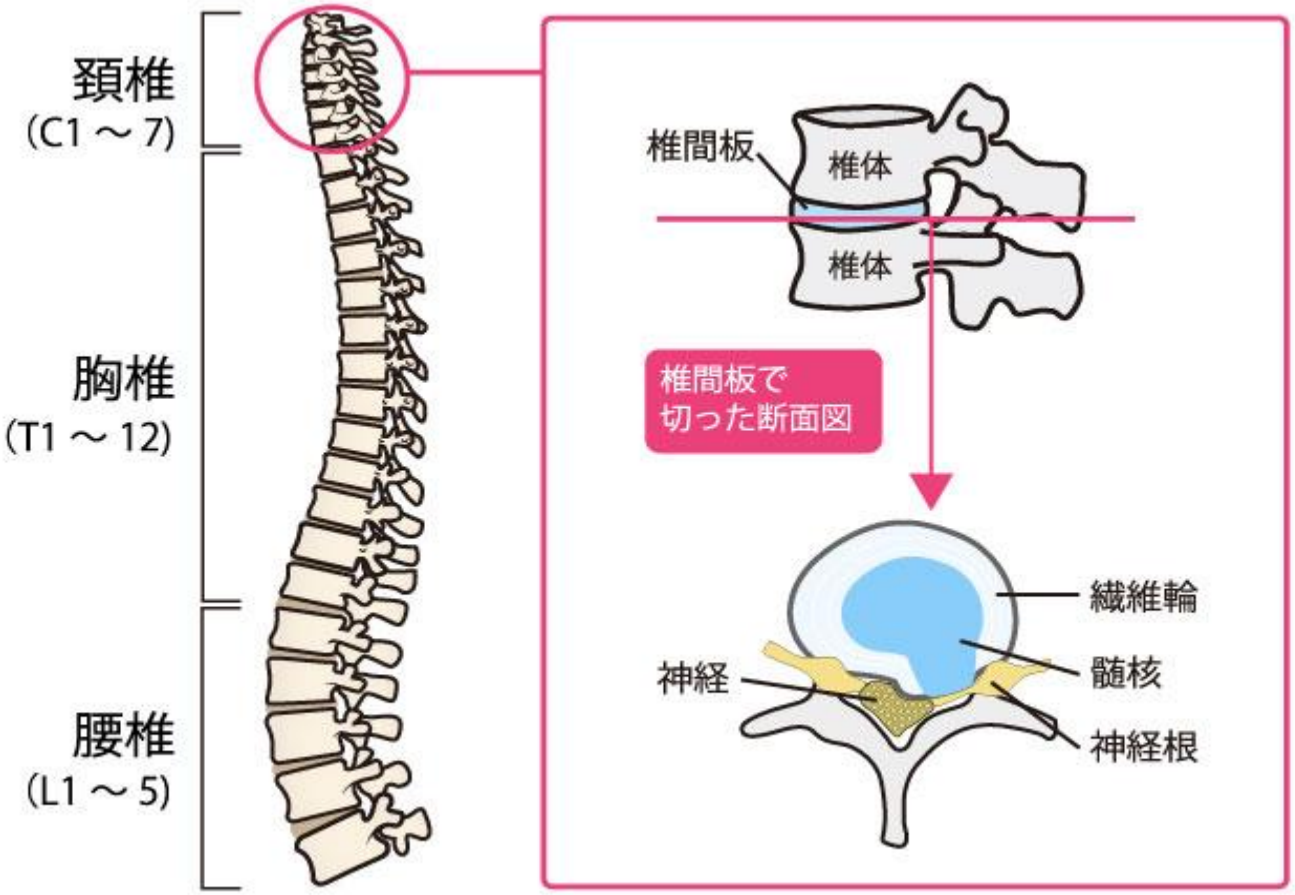
安井鍼灸整骨院 NEWS VOL. ６４（１月）

こんにちは。安井鍼灸整骨院です。今回は、頸椎ヘルニアについてです。

頚椎椎間板ヘルニアはどんな病気ですか？

首には７個の椎体という骨と、その骨と骨とつなぐクッションのような柔らかい組織があります。この組織を椎間板と言いますが、周囲は繊維輪という比較的しっかりとした繊維性組織で包まれています。椎間板が動くことで首が曲がったり回旋したりするのですが、この椎間板の繊維輪に亀裂が入ると椎間板内の奥にあるクッションで言うところの中の綿のようなもの（髄核と言います）が、外に出てきてしまいます。この髄核の外への脱出を椎間板ヘルニアと呼びます。



頚椎椎間板ヘルニアはどんな症状が出ますか？

通常椎間板ヘルニアは背中の方に向かって飛びだします。飛び出した先には脊髄と言われる脳から降りてきた神経の束が存在します。また少し左右にそれると、脊髄から左右の手に向かって神経根という神経の一部が枝分かれしています。ですので、飛び出した髄核が脊髄を圧迫した場合（脊髄症）と、神経根を圧迫した場合（神経根症）では異なる症状を呈します。

脊髄症　歩行障害や細かい手作業ができなくなったりします（これを「巧緻運動障害」と言います）。

神経根症　　片側だけの上肢の痛みやしびれ、筋力低下を生じます。

原因

椎間板が飛び出してくる原因の一つとして、老化現象による椎間板機能の低下が挙げられます。頚椎の間にある椎間板は常に圧力のかかる状態にあるので、組織の中で最も早く老化が起こるとされます。

そのため、劣化が進んで外側の膜に亀裂を起こし、中の髄核が飛び出して神経を圧迫し、痛みやしびれなどの症状を引き起こすのです。また最近はパソコンやスマートフォンなどの多用によって首がクレーンのように前にでているクレーンネックが原因ともいわれ、今回の頚椎椎間板ヘルニアを含む様々な頚椎の障害、いわゆる頚椎症

の原因ともなっていると言われており近年凄い勢いで増えていると言われています

頚椎椎間板ヘルニアはどのような治療がありますか？

これまでに行われてきた治療は様々なものがありますが、現在も継続し行われている治療は保存治療（頚椎ネックなどの固定による頚部の安静、薬物療法、神経根ブロックなどのブロック注射）と外科的治療です（レーザー治療、前方固定術、椎間孔拡大術、椎弓切除、椎弓形成術など）です。細かい治療方法にはさらにバラエティーがあり、例えば神経根症に対する背中側からの治療方法である椎間孔拡大術にも、肉眼的、顕微鏡的、MED システムも用いる、FESS など様々です。それぞれの利点欠点を医師からご説明頂き、最も適した治療を受けられることをお勧めします。

安井鍼灸整骨院　０７８－９９５－９４６１　新患の方は、来院前に予約の御協力をお願いします。
9：00～12：00　16：00～21：00(月～金)　８：３０～13：00　16：00～20：00(土)
駐車場正面に２台　キッズスペースあり　夜２０：３０まで受付　詳しくはHPをご覧ください。
兵庫県明石市大久保町大窪１９２１番地の１クレージュ山手１０１号(カラオケまねきねこ横)